

連続講座 第6回

共生フォーラムセミナー

11/24

(日曜日)

開場 14:00 開始 14:30 ▶ 16:30

いきいきプラザ(西区地域交流センター)

資料代 : 500 円(正会員無料)

主 催 : NPO 法人共生フォーラムひろしま

後 援 : 広島市・広島市教育委員会(申請中)

広島で〈在日朝鮮人〉として生きる

コン ヒョン キ
権 鉉 基さん

プロフィール

1982 年生まれ。幼稚園～高校まで広島朝鮮学園に通い、その後大阪の専門学校に進学。大阪で在日本朝鮮留學生同盟(留学同)の活動をしたのち、広島に戻り留学同の専従として活動を開始する。現在は「広島無償化裁判を支援する会」で事務局長として活動中。様々な活動と並行して、戦後広島の在日朝鮮人史に関心を持ち、様々なフィールドで研究活動にも携わる。広島韓国・朝鮮社会研究会編(2010年)「戦後広島のマイノリティ立ち退き関係新聞記事資料集」、現代思想 2016 年 8 月号掲載「平和」と「復興」の狭間を生きた在広朝鮮人」などがある。

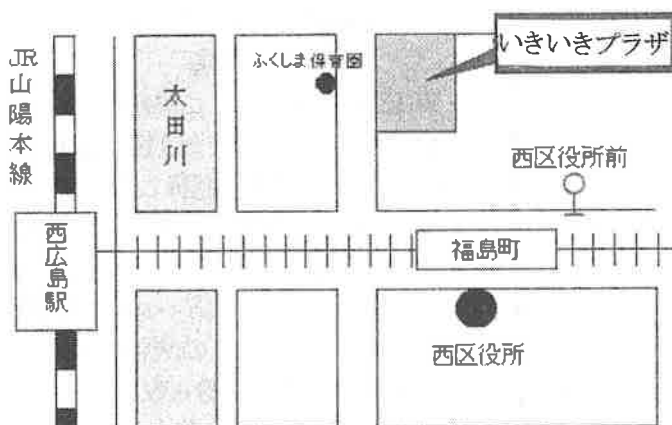
広島無償化裁判を支援する会 設立趣旨

2013 年 8 月 1 日、広島朝鮮学園と在校生・卒業生を併せた 110 人が国を相手取り広島地裁に提訴しました。広島地裁への提訴以降、広島では「民族教育の未来を考える・ネットワーク広島」が中心となって裁判への支援活動を行ってきました。この裁判闘争に置いてより良い判決を勝ち取る必要性を感じています。また数十年来、朝鮮学校が置かれた厳しい状況を打開し、日本社会に未だ根強い民族差別・排外主義をこそ許さない市民・住民の和を広げていくために、これまで地道な活動をなされてきた方々とつながりながら、さらなるネットワークのひろがりをめざして、ここに裁判を支援する会を結成します。(facebook より抜粋)

昨年（2017年）、大阪の「無償化」裁判の地裁判決の後の支援集会で高校生2年生が語った言葉があります。「私はこの大阪が、日本が、そして世界が差別や偏見がなく、みんなが平等で、当たり前の人権が守られる世の中になることを願っています。そして私はそんな世の中を作っていく一員となるべく、これからもウリハッキョへ通って行きます」「私は今、ウリハッキョ（注：朝鮮学校のこと）を支えてくださっている方々への感謝の気持ちを絶対に忘れません。いつか必ず恩返しします。そして、ウリハッキョの未来を必ず私たちが守っていきます。私はこの大阪で、日本でウリハッキョに通う在日コリアンが本名で堂々と生きる、どこの国どこの民族の一員であっても堂々と生きていく、いろんな人が助け合っていける街、そんな素晴らしい社会が来ることを願い、そのための架け橋の存在になりたいと思っています」と発言したんです。大阪の弁護団長は丹羽雅雄さん、いろんな戦後補償裁判や外国人登録をめぐる問題に関わり、あるいは被差別部落をめぐる問題に関わってきた彼がこの高校生の話を聞きながら泣いていました。私も泣きました。これは彼女の究極の夢です。

先程「共生」が絶望的な状況にあると話しました。そうした中で、まさに今「共生」をラジカルな言葉として思い描き、実現していこうと動いている人たちがいるということなのです。「共生」とは究極の夢かも知れないけれども、それでも究極の夢を待ち、持てる大人の一人でありたいと思っています。

（中村一成「多文化共生社会の内実を問う」第1回共生フォーラム講演要旨『会報 共生フォーラム第6号』より抜粋）



いいききプラザ(広島市西区地域交流センター)
1階 会議室

733-0024 広島市西区福島町1丁目19-12

問い合わせ先

特定非営利活動法人共生フォーラムひろしま

733-0024 広島市西区福島町一丁目6番2-406号

Tel 070-3771-9235 (法人事務担当)

Email : kyosei.fh@gmail.com

HP : <https://kyousei-h.jimdofree.com>



共生フォーラムとは

「共生フォーラム」とは、「異なる文化を持つ人々が、お互いの違いを認め合いながら集う場」という意味を含めた言葉です。

異なる文化を持つ人々が集まる場は、多様性を持った空間です。多様性こそが新しいものを生み出すエネルギーになります。私たちはそうした空間を創り出し、そこに集う人々の触媒になりたいと考えています。